

東部の指導だより

東部教育事務所
学校教育係発行 第16号
平成29年 3月 6日

指導力向上に向けた やりがいのある校内研修の推進

学校においては、テーマ研修を中心にした校内研修に取り組んでいただいていると思いますが、「計画書の作成や校内での共通理解に膨大な時間がかかってしまう」「研修で目指している子どもの姿が授業や学校生活で十分に現れない」等の現場の声を耳にします。

このような実情を受け、東部教育事務所では、先生方の財産となるような研修を目指します。ここでは、子供の成長のため、学校の課題解決のため、それから先生方ご自身の指導力向上のために、先生方がやりがいをもって校内研修を推進していただけるよう、次のような研修のスタイルについて情報提供をさせていただきます。

～研修のスタイル～

授業改善研修(スリム化) + 資質向上研修

様々な学校課題の改善・解決、授業改善、教員の人材育成に向けて、授業改善研修(今学校で行われているテーマ研修)をスリム化し、それにプラスして資質向上に関わる研修を取り入れていくことを提案します。(研修の進め方については下の※①②を御覧ください)

授業改善研修

- 1 全教職員が、同じ方向で毎日の授業を通して実践する。
授業を中心に、学校で決めた共通の手立てについて、全ての先生が、毎時間、年間を通して取り組んでいくことを大切にします。
- 2 研修計画書をシンプルにする。(研修計画書の例は下の※③を御覧ください)
膨大な計画書を全員で検討したり、共通理解したりする時間を少なくします。
- 3 研修の必要性から生まれる班を編制する。

資質向上研修

喫緊の学校課題に対応できるようにするために、教員として最小限身に付けておかななくてはならないテーマについて計画的に研修に位置付けるようにします。
アレルギー対応、板書の仕方、学級開き等、日々の指導に即生かせる内容の研修を計画的に組んでいくことが指導力を向上させる上で有効であると考えます。

※次ページに、メンター制試行校の職員研修の取組や資質向上研修を実施してしている学校の取組について掲載いたします。

<事務所の web ページで、校内研修の進め方、計画書の書き方等が御覧いただけます>

※①指導力向上に関わる研修の進め方について(新)

(http://www.nc.tobu.gsn.ed.jp/?action=common_download_main&upload_id=1002)

※②研修のスケジュール(新) (http://www.nc.tobu.gsn.ed.jp/?action=common_download_main&upload_id=1005)

※③授業改善研修計画書(新) (http://www.nc.tobu.gsn.ed.jp/?action=common_download_main&upload_id=1006)

メンター制試行校の職員研修の取組

桐生市立川内小学校・川内中学校 [リンク①](#)

研修コーディネーターとして、初任者の示範授業にも同席したことで、初任者本人では気付かない研修の必要性に気付くことができました。中学校では、校内指導教員と相談しながら初任者の困り感から研修に必要な内容を適宜選びました。



～指導力の向上、信頼関係の構築を目指して～
研修の内容 給食指導、水泳指導、ICTの活用
学級指導、道徳の指導、部活動指導

研修の成果としては、指導力の向上だけでなく、初任者への関わりや職場の雰囲気が高まりが見られました。また、初任者だけでなく、中堅職員等メンバー全体の成長が見られました。

板倉町立東小学校・板倉中学校 [リンク②](#)

～みんなで育てる！ 人がつながる！～

研修主任としての悩みは、先生方が意欲的になれない、授業が変わらない、一部の先生方の発言だけで研修が進んでしまう等です。それらを解決できるカギが、メンター制の「時間の確保」と「研修内容の充実」にあります。

研修時間の確保

- ・なるべく短時間で行います。長くても50分で収めます。
- ・中学校では、構成メンバーが若手のため、運営委員会と並行して行いました。

研修内容の充実

- ・実効性のあるものにするために、アンケートにより若手教員の困り感を集約しました。また、身に付けてほしい内容も研修テーマに取り入れました。



若手の困り感に寄り添い、教員同士をつなげることで、若手を育てると同時に、育てる側の中堅もベテランも双方に学びがありました。

資質向上研修を実施している学校の取組

みどり市立笠懸小学校 [リンク③](#)



～教師力パワーアップ道場の取組～

研修の内容

研修で目指していること

- ・児童の変容や手応えを実感できる、やってよかったと思う実践
- ・経験年数や先生方の得意なことを生かし、気軽に楽しく学び合える研修
- ・研修したことが自分の糧になり、今後の教職に役立つと感じられる研修
- ・自分の教師力が向上する研修

- ・C4thによる通知表作成
- ・不登校未然防止に役立つ学級経営
- ・手話講座 他



研修の成果として、ベテラン、若手、ミドルリーダーそれぞれの教員の意識の高揚につながりました。

太田市立生品中学校

[リンク④](#)



若手職員育成プロジェクト「生品塾」

実施時期 : 部活動中止期間の放課後、長期休業中(時間は30分程度)
研修の内容 : アクティブ・ラーニング、生徒指導の在り方と部活指導
道徳の教科化とその準備 他

<参加した先生方の感想>

- ・自分の授業や指導において必要なことを知るよい機会となった。生徒のよさを認める機会が増えたと思う。
- ・先輩の先生方も自分と同じような悩みがあったことを聞き、安心できた。また、そのときの対応を聞くことができ、勉強になった。

<講師役の先生方から>

- ・平均年齢が30歳前半の構成による職場が今後増えていくので、この取組が若い先生方の日頃の悩みを解消する1つの手立てになると思われる。
- ・この取組により風通しのよい職場になると思う。